

令和3年2月2日

各 位

富山県薬事総合研究開発センター
所長 高津 聖志
(公印省略)

医薬品研究開発に係る発表会・セミナーの開催について（ご案内）

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、当センターの研究成果を県民の皆様にご理解いただくため、下記により研究成果発表会を開催するとともに、一層の研究開発を促進するため、セミナーを開催いたします。ご多忙中とは存じますが、ぜひご参加をいただきますようよろしくお願いいたします。

1. 日時 令和3年3月4日（木） 13:30～16:20
2. 場所 富山県薬事総合研究開発センター 大会議室（創薬研究開発センター 2F）
射水市中太閤山 17-1 （TEL：0766-56-6026）
3. 内容
 - (1) 「くすりのシコバレー TOYAMA」創造コンソーシアム 医薬品研究開発セミナー（13:30～14:40）
講演 「核酸に対する自然免疫応答と炎症性疾患」 三宅 健介 先生
東京大学 医科学研究所 感染遺伝学分野 教授
 - (2) 令和2年度 富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会（14:50～16:20）
[開会・薬事総合研究開発センターの概要]
 - ① 甘草成分イソリクイリチゲニンのNLRP3インフラマソーム阻害作用とその応用研究
創薬研究開発センター 主任研究員 本田 裕恵
 - ② 白樺成分ベツリンのがん免疫増強作用と創薬研究
製剤開発支援センター センター長 小笠原 勝
 - ③ 質量分析装置を活用した医薬品の品質管理への応用
創薬研究開発センター 副主幹研究員 小木曾 英夫
4. 定員、その他留意事項
 - (1) 定員 50名程度
申込多数の場合、来場をご遠慮いただく場合がございます。その場合には、その旨ご連絡いたします。連絡がない場合は、来場可能です。
 - (2) 新型コロナウイルス感染症に係る感染対策
 - ① 次の事項に当てはまる方は、来場をお控えいただきますようお願いいたします。
 - ・開催日前2週間内に海外渡航歴のある方、又は国内の緊急事態宣言対象地域及び感染拡大地域への旅行・出張をされた方及びその方と濃厚接触のあった方
 - ・基礎疾患をお持ちで感染リスクを心配される方
 - ・発熱やかぜ症状がみられる方
 - ② マスクを着用のうえご来場願います。
5. 参加申込み
別添の参加申込書により、2月19日（金）までにファックスまたは電子メールでご連絡ください

令和2年度

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム

医薬品研究開発セミナー

日時

令和3年

3月4日(木) 13:30~14:40

富山県薬事総合研究開発センター

創薬研究開発センター 2F大会議室

〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1



「核酸に対する自然免疫 応答と炎症性疾患」

講師: 三宅健介先生 (東京大学・医科学研究所 教授)

※当日、講師は、リモート出演になります。

病原体の侵入や組織損傷の際に、放出された核酸が核酸センサーに作用することで、自然免疫系が活性化される。その活性化は、感染症ばかりでなく、自己炎症症候群や自己免疫疾患など炎症性疾患の病態に関与する。本講演では、核酸センサーによる核酸認識機構、核酸センサーの応答制御機構についての我々の最近の知見を紹介する。

お申し込み
お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当: 林、寺本
TEL: 0766-56-6026 (代表) FAX: 0766-56-7285

令和2年度

富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会

日時

令和3年

3月4日(木) 14:50~16:20

富山県薬事総合研究開発センター 大会議室(創薬研究開発センター 2F)
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

① 甘草成分イソクイリチゲニンのNLRP3インフラマソーム 阻害作用とその応用研究

創薬研究開発センター 主任研究員 本田 裕恵

我々は、甘草成分イソクイリチゲニンが炎症性サイトカインIL-1 β の産生を制御するNLRP3インフラマソームの活性化を阻害する作用を持つことを見出しました。また、本成分のマウスでの抗糖尿病効果を検討し、有効性を確認しました。本発表では、これらの研究に関して現在の取り組みとともにご紹介いたします。

② 白樺成分ベツリンのがん免疫増強作用と創薬研究

製剤開発支援センター センター長 小笠原 勝

当センターでは、ほくりく健康創造クラスター事業において見出した白樺成分ベツリンのがん免疫増強作用を創薬に繋げるべく、ベツリンの誘導体を作製し、薬効評価を進めてきました。その結果、数種の誘導体にベツリンよりも強い抗腫瘍効果を認めました。本発表では、その薬理効果と作用の仕組みについて報告します。

③ 質量分析装置を活用した医薬品の品質管理への応用

創薬研究開発センター 副主幹研究員 小木曾英夫

県内医薬品企業の品質管理技術向上を目的として、県内分析技術者とともに毎年研究会を開催し、最新の分析技術について経験を深める活動を行っています。本発表では、「飛行時間型質量分析装置」と「四重極型質量分析装置」について、「強制劣化物の構造推定」および「微量薬物の定量」への活用事例を報告します。

お申し込み
お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：林、寺本
TEL：0766-56-6026（代表） FAX：0766-56-7285